

# ハマ街グルメ

特別編

横浜を拠点に活動する LTR メンバーにとって、幅広いジャンルの名店が揃うハマのグルメは、日々のパワーの源です。ここでは、仲間とワイワイも一人メシも OK な“ハマのイチオシ飲食店”を紹介！ 1 回目は特別編として、コロナ禍で苦境に立たされながら、新たな取り組みに挑む飲食店経営者へのインタビューをお届けします。

## 株式会社エイト

横浜や湘南を中心に、居酒屋、ラーメン、鉄板焼、和食、洋食などさまざまな業態の飲食店を 16 店舗展開している株式会社エイト。今回、代表取締役の近藤一美さんに、コロナ禍で抱いたさまざまな想いや、新たな取り組みなどについてお聞きしました。



代表取締役 近藤一美（こんどう・かずみ）さん

### 「社長が NO といってもやります」 の言葉に目が覚めた

4月の緊急事態宣言後、まず頭に浮かんだのは「お店をしばらく閉めよう」ということでした。16店舗のうち、単独のお客さまが多いラーメン「壺八家（いっばちや）」と、すでにテイクアウト対応を始めていた焼き鳥「とり吉」を残し、他はすべてお休みしようかと……。さっそく全店の店長を集め、緊急会議を開催。悲しい決断ではあるけれど、「この状況では仕方がない、皆も納得してくれるだろう」と思いました。

ところが、予想に反して上がった声は「それなら、お弁当の販売をやりましょう」という前向きなものでした。最後には、「社長が NO といっても、私たちはやります」とまでいってくれて……。そこで、一度お店は閉めましたが、その方向で準備を進めることにしたんです。

正直、ビックリしましたね。当時の私は、目の前の状況に心が折れそうになっていて「一度お店を閉めたら、再開は難しいかもしれない」と、ネガティブな発

想しかありませんでした。それなのに、店長をはじめスタッフが前を向いて進もうとしていて。そこで一気に目が覚めて、「今、やれることを頑張ろう」と心に決めました。



下町情緒あふれる外観が魅力の「もんじゃ横丁 戸塚店」

### お家で「もん横」や「壺八家」の味を 楽しんでほしい

さっそくお店を再開し、お弁当の販売も開始。「もんじゃ横丁」ではお店で焼いたお好み焼き、焼きそばを販売。天ぷら「天七（てんしち）」では天丼弁当、鉄板焼の「虎幻庭（こげんてい）」ではステーキ弁当など、各店舗がお店の味をお弁当という形に変え、新たなチャレンジがスタートしました。

販売当初は厳しい状態が続きましたが、ここでも私は、スタッフから大きなパワーをもらうことになります。売上が伸びないから「やめよう」ではなく、「こうしよう」というアイデアが次々と出てきました。中でも一番力を発揮したのは、「店舗同士の横のつながり」です。当初は、店舗ごとにお弁